

岡崎市立地適正化計画（素案）に対するご意見と市の考え方

	意見	市の考え方
1	<p>竜美丘会館付近に住んでいるが、東岡崎駅へのバスの運行本数が2本/時間と少ない。また、東岡崎駅までの道中が混雑し、時間通りに運行しないため、時間が限られている子育て世帯にとってはバスを利用しにくい。バスの運賃も高く、せめて子どもは無料にしてほしい。バスの利便性を高めれば、車の数も減り、駐車場が少ない町中への足も増えるのではないか。</p> <p>また、三島小学校、竜海中学校、岡崎高校の辺りは歩道がなく、子どもの家への道も車の通行量が多い。有名な学校でもあり、子どもの安全を確保することでさらに知名度もあがり、子育て世帯の転出も防げるのではないか。</p>	<p>立地適正化計画は、高齢者や子育て世帯をはじめとした住民が可能な限り徒歩や自転車、公共交通機関によって生活できる都市構造を目指そうというものです。中でも、子育て世帯への対応、子どもにとって安全安心な社会の形成は、人口減少社会を見据えた中で大変重要な要素であり、そのためには、ご意見のとおり、子育て世帯が安心して暮らすことができる生活環境の確保が非常に大切なことだと考えております。</p> <p>いただいたご意見は、立地適正化計画と連携して検討する公共交通の計画、あわせて道路整備の個別計画などで参考にさせていただき、住みよい都市構造の形成に努めてまいります。</p>
2(1)	<p>概ね賛成する。</p> <p>優先すべき2か所の地点は当然と考える。人々の移動手段を公共交通機関とすることが都市機能を充実させる基本である。2か所の拠点から放射状に延びるバス路線があれば適正化がさらに図られるはず。</p>	<p>市においても、今回設定する2つの都市機能誘導区域を中心に、これらに加えて今後設定する地域拠点などを繋ぐ公共交通網を充実させることが重要と考えています。いただいたご意見は、立地適正化計画と連携して検討する公共交通の計画などで参考にさせていただきます。</p>
2(2)	<p>乙川リバーフロント地区整備計画や岡崎駅周辺への大学病院の誘致は大いに賛成する。ようやく車ではなく人を中心に考えられる事業ができたかと思う。東岡崎駅から籠田公園に至る間に人が集まる空間ができるかどうか重要である。</p>	<p>市では、自動車がなくとも生活可能な地域を一定程度確保できるような都市構造を目指して計画策定を進めています。自動車とほどよく共存しつつ、特に中心部においてはご意見のとおり可能な限り人を中心とした都市構造となるよう検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、岡崎市が将来に渡って魅力ある都市となるよう、今後の事業実施に活かさせていただきます。</p>

2(3)	<p>人々が安心して暮らせることは人間の五感が感じられることが安心の源ではないかと思う。立地適正化計画の下に交通・福祉・医療・教育・防災に係る関連計画がある中で、景観計画・環境基本計画・緑の基本計画とあるのが好感が持てる。時間はかかると思うが、着実に推進してほしい。</p>	<p>立地適正化計画の作成にあたっては、総合計画における将来都市像、都市計画マスタープランにおける基本理念から、自然、歴史性などについても重要な要素と考え、それらを関連計画としています。</p> <p>将来の安心して暮らせる都市構造の形成に向けて、いただいたご意見のとおり、時間をかけながら着実に推進していきたいと考えております。</p>
2(4)	<p>日本各地で老朽化した水道管による漏水事故が多発している。市街化区域内だけでも優先に水道・道路・橋等のインフラ施設の点検補修をすることも持続可能な立地適正化ではないかと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、老朽化したインフラ施設等の更新は持続可能な都市構造の形成に向けて、非常に重要な課題です。</p> <p>市では、関係部局と連携して、インフラ施設のライフサイクルコストや利用状況を踏まえ、点検補修や長寿命化と更新を進めてまいります。</p>
2(5)	<p>立地適正化計画の区域外となっている旧額田地域は、今後区域内に移住してもらうのか。水源の涵養地区としても大切な地域なので、慎重にゆっくり進めてほしい。夕張市の例を見ても市の要望通りには人々は移動しないものだと感じたし、先祖代々の土地を離れるのは並大抵の意思ではできないものだと考えさせられた。</p>	<p>立地適正化計画は単に区域内への移住を求める計画ではありません。</p> <p>本市における立地適正化計画は、人口密度と都市機能を維持し、自動車なしでも生活できる一定の区域を設けようとする一方、郊外部や農山間部についても、可能な限り世代間バランスが確保され、コミュニティの維持が可能となるような都市構造や居住のあり方を検討していくものとしています。</p> <p>そのためにも、ご意見のとおり、慎重にゆっくりと進めていくべきものと考えております。</p>
2(6)	<p>260年も平和な世を築いた家康公の生誕の地であり、家康公のDNAが豊富な土地柄を活かして安心安全なコンパクトシティを目指してほしい。</p>	<p>市では、歴史的風致維持向上計画を策定し、乙川リバーフロント地区整備計画とともに、歴史文化資産を活かした「歴史まちづくり」を推進しております。</p> <p>立地適正化計画においても、「歴史と文化の継承」を重要な要素としており、ご意見のとおり豊富な歴史文化資産を活かした上で計画を推進していきたいと考えております。</p>

※いただいたご意見は趣旨を損なわない程度に要約した箇所があります。